

# リスクアセスメント & 作業手順書

工事名称	2025年度 東海北陸自動車道 高山管内維持修繕業務		作成会社名	中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱		
工期	令和7年4月1日 ~ 令和8年3月31日		作成者	加藤 雅人		
作業名称	側壁清掃	作業手順書	作成年月日	令和4年5月6日		
使用機械 使用設備	10t吸引車、万能車、散水車、2tD/T、移動用乗用車		改正年月日	令和4年7月29日		
使用工具、機器	スコップ、ほうき、清掃用ブラシ、無線機(5基程度)		現場責任者			
			協力会社	会社名		
保護具	ヘルメット、安全靴、脚絆、マスク、手袋、視認性の良い作業着		協力会社責任者	自署サイン		
材料			作業順序			
免許・資格等 (免)(技)(特)(準特) の区別を記す	自動車運転免許証(大型)				1	事前準備
					2	出発～現場
作業人員	作業責任者 1人、作業員 8名、保安員 2人				3	ブラシセッティング
	合計 11名				4	側壁清掃
作業手順 周知会 参加者 サイン (記録)	作業責任者(職長)	周知会実施日			5	後片付け
	(役割を確認してこの作業に関わる全員が自署サインする)		6	現場離脱		

リスクの見積り	重大性			組み合わせ	リスクの評価	優先度又は実施担当者
	○:軽微 休業4日未満	△:重症 休業4日以上	×:極めて重大 死亡・障害を伴う			
可能性	○:めったに発生しない (5年に1回程度)	○△	○×	○○	1:極めて小さい	関係者に対策の周知
	△:時々発生する (1年に1回程度)	△△	△×	○△、△○	2:かなり小さい	関係者に対策の指示
	×:かなり発生する (6ヶ月に1回程度)	×△	××	○×、△△、×△	3:中程度	職長が確認
				△×、×△	4:かなり大きい	工事担当責任者が確認
				××	5:極めて大きい	十分に訓練をした対策が必要

リスクレベル 5=十分に訓練をした対策が必要 4=工事担当責任者が確認 3=職長が確認 2=関係者に対策の指示 1=関係者に対策の周知

作業項目	手順	急所	リスクの洗い出し	可能性	重大性	評価点	リスクレベル	ミス・ロス	リスクの除去・低減のための実施すべき事項の特定
(誰が)	主なステップ	作業のポイント	(予想されるミス・ロス)						(防止対策)
準備作業(全員)		健康状態の確認・免許・資格等の確認・光物(チョッキ・脚絆・ヘッドライト等)の充電確認・業務用プレートの確認、入場方法・入場箇所・車両順番・役割分担の確認・車両の始業前点検、工具の確認、積み込み荷の確認(落下・飛散対策)荷締め位置、荷台のネット・シート掛けの確認する。工事車両幕がロープ及び養生テープで確実に固定されていることを確認。担当者は施工計画段階でNEXCOと打合せした内容を作業員へ周知・報告すること。車両出入庫の際に、運転手は車両の周囲(上下含む)を指差し、障害物が無い事を確認のうえ、出入庫する。前日までには試運転(動作確認)+車両点検を行う。							
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
現地確認(全員)	作業箇所確認	危険ポイントの確認							
ケーブル等周辺安全確認(露出ケーブル対象)		管理用図面で事前確認	図面がないケーブルが確認された場合、作業を中断し、担当者へ報告すること。						
事前準備	出発前の車両点検及び道具の準備	忘れ物がないよう全員で準備を行う	重量物を降ろしたり運ぶ際に腰を痛める	×	○	×○	3	安	重量物を運ぶ際は、2名以上で声を掛け合いながら運ぶ。
出発～現場	規制内への流入する	事前に規制責任者へ報告	規制内流入時、一般車が規制内へ誤進入し、保安員と接触する	○	×	○×	3	安	回転灯、ハザード、ウインカーの順でルールを守る
ブラシセッティング	現着後、各清掃用具の準備、設置、ウニモグと散水の連結を行う		ウニモグと散水車を連結させる際に指を挟み、怪我をする。	△	△	△△	3	安	手元を明るくし、注意して作業を行う。
	下流末端に吸引車両を設置し汚水を回収する(TN出入口どちらに設置するかは勾配による)		一般車が規制内へ誤進入し、作業員と接触する	○	×	○×	3	安	作業中は正対作業を心掛け、緩衝装置を適正な位置に配置する。
	ブラシセッティングを実施し、未使用のブラシは車体幅に納めるか、進行方向に対して平行に設置		ブラシセッティングの手順を誤り、ブラシと構造物が当たり、壊してしまう	△	△	△△	3	安	ウニモグのブラシセッティングはトンネル内に侵入後に行う事とする
側壁清掃	ウニモグ動作時はオペ、ブラシ操作者、監視者が揃った状態で無線機を使用して実施する。		水が飛散し、一般車へかかる	△	○	△○	2	安	水を扱う際は通行車両等への飛散が無いよう、圧の調整や保護を実施する。乱暴な放水を行わない。
	ブラシの寄りや車体の位置を確認し接触を回避する。また人力班と機械班が離れすぎないこと。		放水時、水があふれ本線へ流れ出る	△	△	△△	3	安	放水時に水が路面へ溢れないかを確認し、水位が収まらないようであれば詰まりの除去、放水の中断を行う
	標識や電光看板等の付近はブラシの動作を止め、3m程度手前から回避する		清掃対象物以外を放水作業で傷つける	○	△	○△	3	安	非常電話関連の設備、消火栓等は清掃対象に含まない
	ウニモグのブラシで洗えない箇所は人力清掃で対応し、順次出口まで清掃を行う		トンネル内で暗いため、車両で作業員をはねる	○	×	○×	3	安	自発光チョッキの点灯、脚絆の装着確認
	TN出口到着後ブラシを速やかに格納する	責任者は作業漏れが無いかのチェック	空気が環境が悪いなかでの作業中、気分が悪くなる	△	△	△△	3	安	トンネル内には不衛生のため、マスク着用をする
後片付け	忘れ物がないか全員で最後に現場周りを確認	回収した汚泥は適切な処理方法(マニフェスト記載)にのっとり処分する							
現場離脱	現場から離脱する	安全に離脱する	一般車との接触する。	△	×	△×	4	安	保安員の合図で現場規制内から離脱する
			荷台から物を落とし、一般車に当たる	×	△	×△	2	安	現場離脱前に必ず荷台の点検・確認を行うこと。
									工事車両幕を取外した場合は専用のケースに確実に格納し車内に保管する事